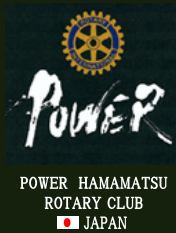


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

小さな歯車 地球を回す

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー / 第 2620 地区ガバナー 中村皇積 / 会長 伊藤勝人 / 幹事 土屋公良
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC



第970回例会3月12日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間
- 司会：高部光司 堀内善弘
- 点鐘：伊藤勝人
- 週報：熊谷真一
- ロータリーソング：「我等の生業」
- ゲスト：米山記念奨学生 ヤオ ファンボさん

出席報告/スマイル報告

会員数 70 名 (内出席免除会員 1 名)
出席数 48 名 出席率 69.57%

スマイル提出者氏名掲載
鈴木直幸 大石莉帆
ゴルフ同好会

会長挨拶

先週の会長挨拶の続きです。今日3月12日は、東大寺のお水取りの一番の見どころである、「若狭井」という井戸から「お香水」を汲み上げて十一面観音にお供えする儀式があり、まさに本日の深夜に行われます。10年前にこの儀式へ代理参加した私の経験談をお話させていただきます。

観光客が帰り、夜の10時になりますと、二月堂の中では東大寺の管長さんが座るはずだった一畳の畳…「結界」に、吉岡幸雄先生と二人で座禅を組んで座り、隣の畳には高僧らしき僧侶二人も座禅を組んで座りました。

部屋は大きな暖簾のような布で結界が張られ、私達からはあまり見ることはできませんが、観音様が祭られている結界では、11人の修行僧が「走り」という、走り続ける荒行を行います。これは天界の菩薩たちの法要を人間界でも行えるよう、天界の早い時間の流れに少しでも追いつくため、走って走って法要をするようになったそうです。「走り」の行法は、やかましいほどの大きな声で読経をしながら、下駄のまま結界の中をぐるぐる回り、時々結界から私たちのところへ来ては、遊具の「シーソー」のような状態になっている長板に、思いきり膝を「ダン、ダーン！」と割れるほど打ち付けます。すると厚い板が跳ね返り、迫力のある音が体にまで響きます。

この「走り」が終わると少し休憩があり、次の行法へ移ります。国宝の木造建築を舞台に、火事にならないかと心配される「達陀」(だったん)が始まります。十一面観音像の結界の中では、二月堂が燃えてしまうのではないかとと思われるほどの大きな松明が燃やされ、その松明を修行僧が抱えて、ほら貝や鈴、錫杖の音に合わせ、読経と共に結界の中を引きずり回します。炎は天井に届いている状態でした。結界で引きずりまわした松明は、結界を開けて私達の前でも引きずり回し、火の粉をまき散らしながらまた結界に入る…という動作を延々と繰り返します。

そして最後には、座禅を組んでいた私に向かって松明を投げつけたのです。正面からバウンドしながら向かってくる大きな松明は、座っている真前の畳の厚みに「バン！」と当たって止まりました。私は投げつけられた瞬間驚いて、逃げていいのかわからず座禅を崩さずにいましたが、逃げなくて正解だったのだと、胸をなでおろしました。本日もよろしくお祈りします。



幹事報告

ロータリークラブ満足度アンケートの件です。急遽のお願いではありましたが、皆さんから多数ご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。今後のクラブ運営に生かしていきます。

さて、私事ですが花粉症が続いています。くしゃみと鼻水、目のかゆみに困っています。例年、桜の開花とともにおさまるのですが、天気予報の開花予想が今年は早そうだとのことなので、ちょっと嬉しいです。花粉症がおさまったらならスマイルします。以上幹事報告でした。



委員会報告

- ゴルフ同好会 第3回青空例会 (豊岡国際 CC)
優勝 石津真実さん
次回は6月9日日曜日です



- 米山奨学生 ヤオ ホンボさん 奨学金授与

議事

- 次年度からの会費の改定（値上げ）について
会長エレクト後藤会員より説明
- 第2回 クラブ協議会 次年度の活動について協議しました。

